

多摩情報教育システム (tedu2025)

マニュアル

自習用 VDI 利用手順【準備編】

Rev 1.0

2025 年 08 月 31 日

多摩情報センター

目次

1. はじめに	3
1.1. 本書の目的	3
1.2. 利用の流れ	3
2. 利用する前に.....	4
2.1. 注意事項.....	4
2.2. アクセスポイントについて.....	5
3. 利用申請手順.....	6
3.1. アクセス先	6
3.2. Google へのログイン.....	6
3.3. 利用申請入力.....	8
3.4. MAC アドレス取得方法	9
3.4.1. Windows OS.....	9
3.4.2. Mac OS.....	13
4. クライアントソフトウェア導入手順	17
4.1. Windows11	17
4.2. MacOS	19

来歴

項番	版数	変更日	変更ページ	変更内容
1	1.0	2025年08月31日		新規作成

<他社所有商標に対する表示>

- Microsoft365 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。

1. はじめに

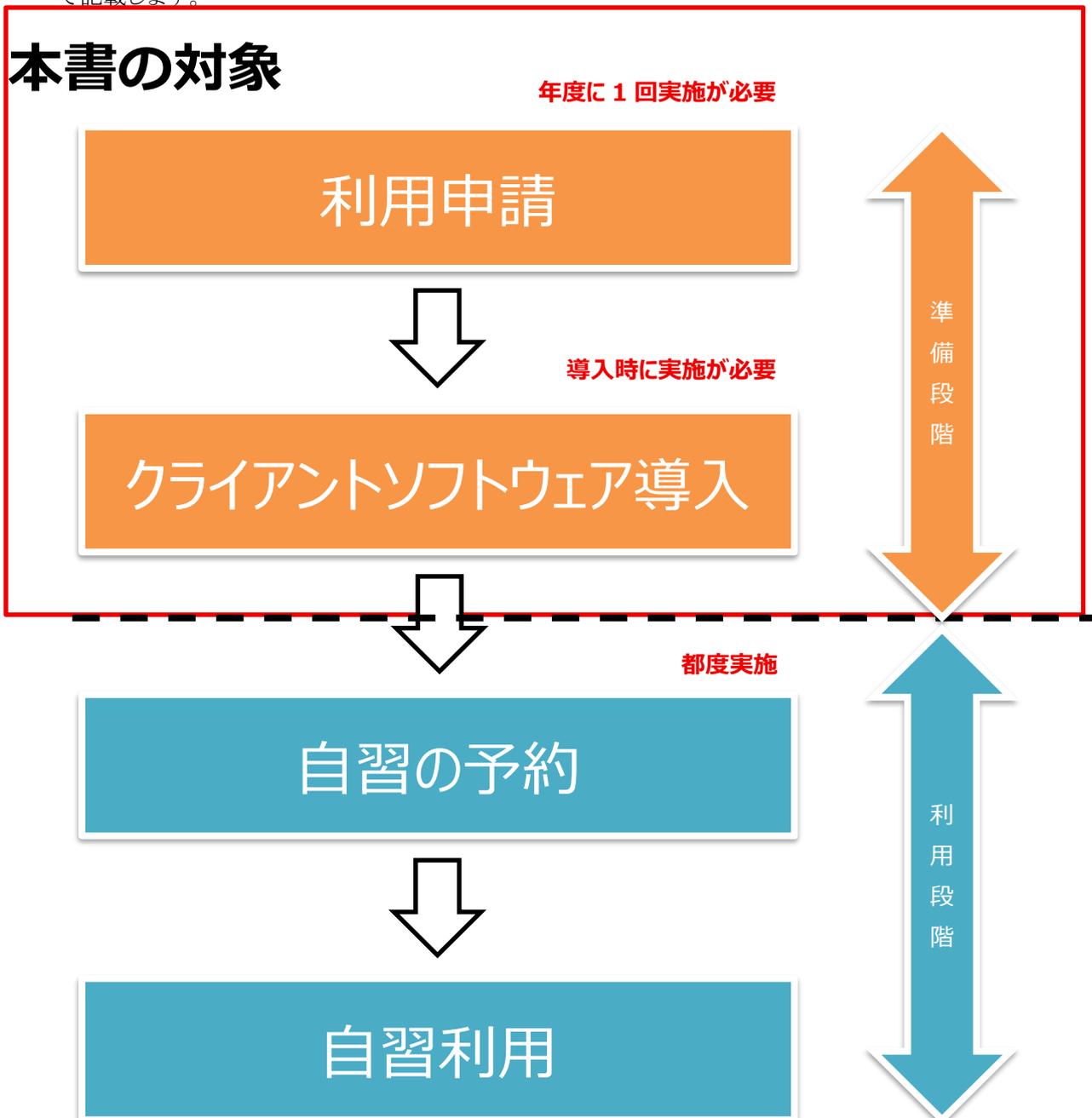
1.1. 本書の目的

本資料は、多摩情報教育システム(tedu2025)の自習用の VDI 端末の利用に関する事前準備の手順書です。

自習用の VDI 端末は、法政大学多摩キャンパスの情報実習室に設置されているパソコンと同じ Windows 環境を個人所有の端末から利用できるようにするサービスです。

1.2. 利用の流れ

自習用 VDI 端末を利用するために必要な一連のフローを以下に示します。本書の対象を赤枠で記載します。



2. 利用する前に

2.1. 注意事項

自習用の VDI 端末は、法政大学多摩キャンパスに所属している学生向けに提供されるサービスです。

- 自習用 VDI 端末は個人所有の機器からご利用ください。
- 自習用 VDI 端末を利用できる数に上限があります。利用申請フォームにて利用申請できない場合は利用上限に達している可能性があります。
その場合はお手数ですが **tedu** サポート窓口(総合棟 3 階 多摩情報センター準備室)にお問い合わせください。
- 自習用 VDI を利用するには、接続元となるご自身の機器を利用申請フォームから申請する必要があります。
- 申請内容の修正を行いたい場合は **tedu** サポート窓口(総合棟 3 階 多摩情報センター準備室)で担当にご依頼ください。
- 利用申請の有効期限は申請した年度内(4/1～3/31)です。
翌年度も自習用 VDI 端末の利用を希望する場合は再申請を行ってください。
- 自習用 VDI 端末の利用時間は朝 8 時から 21 時の時間帯となります。左記の時間帯に自習の予約を専用のページから行って、利用してください。
- 授業で VDI 端末が使用されている時間帯には、自習用の VDI の利用予約はできません。
- 自習の予約方法については別の手順書「自習用 VDI 利用手順【利用編】」にて案内をしていますので参照してください。
- 21 時を超えて自習用 VDI 端末の利用を続けようとしても自習用 VDI 端末は自動でシャットダウンします。
作業内容が消えてしまうので、21 時前には作業を終了してデータを BOX などに保存して利用を終了してください。
- 自習予約は自習用に開放された日時を対象に予約枠を開放しています。以下のパターンの予約については予約が取り消されることがあります。取り消された予約について管理者側で再登録することはありません。取り消された旨の通知がメールで届きます。
 - 時間外(21 時～翌 8 時)の予約
 - 「VDI 予約サイト」のダッシュボード画面に掲示されているメンテナンス時間帯に時間が重複している予約
 - 授業で VDI 端末を利用する必要が発生した場合
 - システムメンテナンス予定日以降の予約
- 1 回で予約できる自習時間の最長は 100 分となります。100 分までは 1 分単位で予約可能です。
- 同じ日付に複数の自習予約を登録することはできません。
- 使用可能なソフトウェアについては下記の URL にアクセスし、「ソフトウェア一覧 (Windows)」を確認してください。
<https://tedu.ws.hosei.ac.jp/pc/#headline4>
- **tedu** サポート窓口(総合棟 3 階 多摩情報センター準備室)の対応時間について授業期間中の月～金 9:00～18:00 となります。
詳細は多摩情報センターホームページの開室カレンダーを参照してください。

2.2. アクセスポイントについて

法政大学 多摩キャンパス内の無線 LAN (hosei-wifi、EN-HOSEI) に接続してからご利用ください。

hosei-wifi、EN-HOSEI に接続する方法については「法政大学全学ネットワークシステムユーザ支援 WEB サイト」が公開しているマニュアルを参照してください。

3. 利用申請手順

3.1. アクセス先

以下の URL にアクセスし、自習用 VDI 端末の利用申請を行ってください。

利用申請を行うには法政大学から払い出されているアカウントで Google へのログインが必要です。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc9TMVn-yUKdaIwbLek6y4iy_iXyRBNwmFS9ISrmYiu8CWWA/viewform?usp=dialog

3.2. Google へのログイン

1. Google から一度ログアウトした後に以下の手順を実施してください。

上記 URL にアクセスすると、Google へのログイン画面が開きます。

法政大学の学生用メールアドレス「〇〇@stu.hosei.ac.jp」を入力して、「次へ」ボタンをクリックしてください。



2. 「法政大学専用 Gmail」のログイン画面にリダイレクトされます。
学生証番号とパスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックしてください。



法政大学専用Gmail

ログイン (Login)

ユーザIDを入力してください (USER ID)

パスワードを入力してください (Password)

ログイン(Login)

3. 「自習用 VDI 利用申請」用のフォームが表示されます。
質問内容を確認して入力を行ってください。

自習用VDI利用申請

BYODから自習用VDIを利用するための申請フォーム

アカウントを切り替える

共有なし

* 必須の質問です

学生証番号*

学生証番号は半角英数字(大文字・小文字可)で入力してください

回答を入力

氏名*

回答を入力

MACアドレス*

半角英数字(大文字小文字可)、カンマ区切りで入力してください
例 01:23:45:ab:cd:ef

回答を入力

～以下略

3.3. 利用申請入力

利用申請には以下の項目があります。すべて必須項目ですので回答をお願いします。

1. 【学生証番号】

自習用 VDI の利用を希望する方の学生証番号を入力してください。学生証番号は**半角英数字**(大文字・小文字可)での入力をお願いします。

2. 【氏名】

自習用 VDI の利用を希望する方のお名前をフルネーム(苗字と名前の間は全角スペース)で入力してください。

こちらの情報はサポートを行うために使用します。

3. 【MAC アドレス】

自習用 VDI へ接続するのに使用する端末(学生様が所有している端末の MAC アドレスを入力してください。

MAC アドレスは半角英数字(大文字小文字可)、**コロン区切り**で入力してください。

コピー&ペーストを行う場合は前後にスペースが入らないように留意してください。

MAC アドレスの調べ方については「3.4 MAC アドレス取得方法」に手順を記載していますので内容を確認してください。

4. 【使用する OS の種類】

学生様がお持ちの端末の OS の種類を選択してください。

Windows OS、Mac OS から選択してください。

5. 【使用するブラウザの種類】

自習用 VDI の予約を行う場合に利用するブラウザを選択してください。

ブラウザは「Microsoft Edge、Google Chrome、Firefox、Safari」から選択してください。

こちらの情報はサポートを行うために使用します。

6. 【利用規約への同意】

利用規約の内容をよく読んでください。内容に同意したら「利用規約を確認し、内容に同意します」にチェックを入れて、「送信」ボタンをクリックしてください。

申請内容を修正したい場合はお手数ですが **tedu** サポート窓口(総合棟 3 階 多摩情報センター準備室)で担当者に申し出てください。

3.4. MAC アドレス取得方法

3.4.1. Windows OS

本書作成時点の Windows 11 における操作手順書となります。

1. 「スタート」ボタンを**右クリック**し、「設定」をクリックしてください。



2. 左ペインの「ネットワークとインターネット」をクリックしてください。
右ペインの表示が切り替わったら「ネットワークの詳細設定」をクリックしてください。



3. ネットワークアダプターから「Wi-Fi」をクリックしてください。



4. 「Wi-Fi」を選択すると項目が広がるので「追加のプロパティを表示」をクリックしてください。



5. 「Wi-Fiのプロパティ」が表示されるので「物理アドレス(MAC)」に表示されている12桁の英数字がMACアドレスです。値を範囲選択してコピーし、利用申請フォームのMACアドレスの項目に貼り付けてください。

Wi-Fiのプロパティ		↑
IP 割り当て:	自動 (DHCP)	編集
DNS サーバーの割り当て:	自動 (DHCP)	編集
SSID:	hosei-wifi	コピー
プロトコル:	Wi-Fi 5 (802.11ac)	
セキュリティの種類:	WPA2-エンタープライズ	
製造元:	Intel Corporation	
説明:	Intel(R) Wi-Fi 6 AX200 160MHz	
ドライバーのバージョン:	22.0.0.6	
サインイン情報の種類:	Microsoft: 保護された EAP (PEAP)	
ネットワーク帯域:	5 GHz	
ネットワークチャンネル:	36	
リンク速度 (送受信):	36/173 (Mbps)	
リンク ローカル IPv6 アドレス:	fe80::798d:c4d4:1a69:140e%9	
IPv4 アドレス:	10.84.3.26	
IPv4 DNS サーバー:	133.25.252.10 (非暗号化) 133.25.242.141 (非暗号化)	
プライマリ DNS サフィックス:	t.hosei.ac.jp	
物理アドレス (MAC):	B0:7D:64:F7:A6:CC	

Windows11 ではまれに Mac アドレスが-(ハイフン)区切りで表示されていることがあります。

その場合は:(コロン)区切りに変更してから登録をお願いします。

※画面上にある「コピーボタン」でコピーしないようにお願いします。コピーボタンをクリックすると必要のない情報まですべてコピーされてしまいます。

《Wi-Fi 接続時の注意事項》

Wi-Fi 接続後に以下の点を確認してください。

左ペインの「ネットワークとインターネット」をクリックしてください。

右ペインの表示が切り替わったら「Wi-Fi」をクリックしてください。



「ランダムなハードウェアアドレス」がオフになっていることを確認してください。

「オン」になっていれば「オフ」に変更してください。

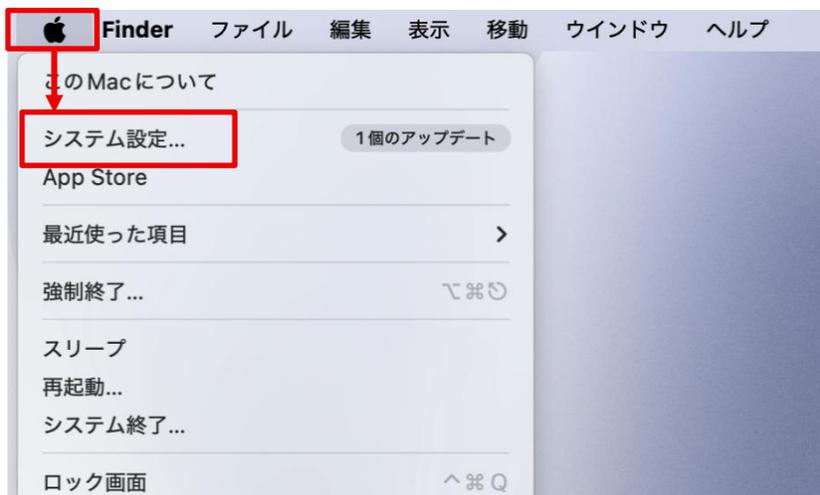


3.4.2. Mac OS

本書作成時点における macOS 15 Sequoia の画面を参考に作成しています。

mac OS 14 をご利用の方は適宜必要な個所を読み替えてください。

1. 画面左上のアップルメニューから「システム設定」をクリックします。



2. 左ペインから「Wi-Fi」を選択したら「詳細」ボタンをクリックします。



3. ネットワークの設定が開くので「左ペイン」の「ハードウェア」をクリックします。

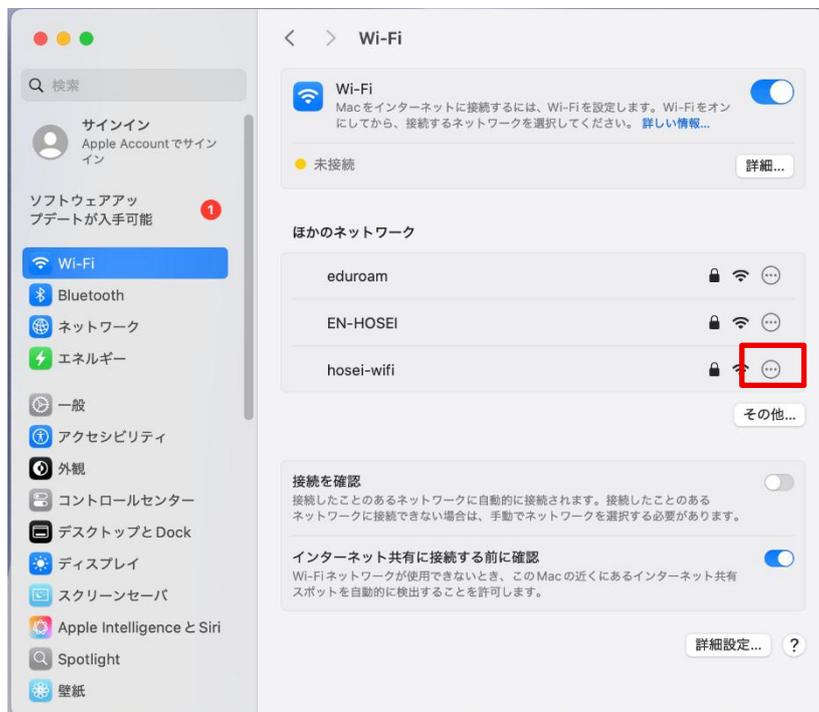


MAC アドレスを確認:「MAC アドレス」または「Wi-Fi アドレス」欄に表示されている 12 桁の英数字が MAC アドレスです。

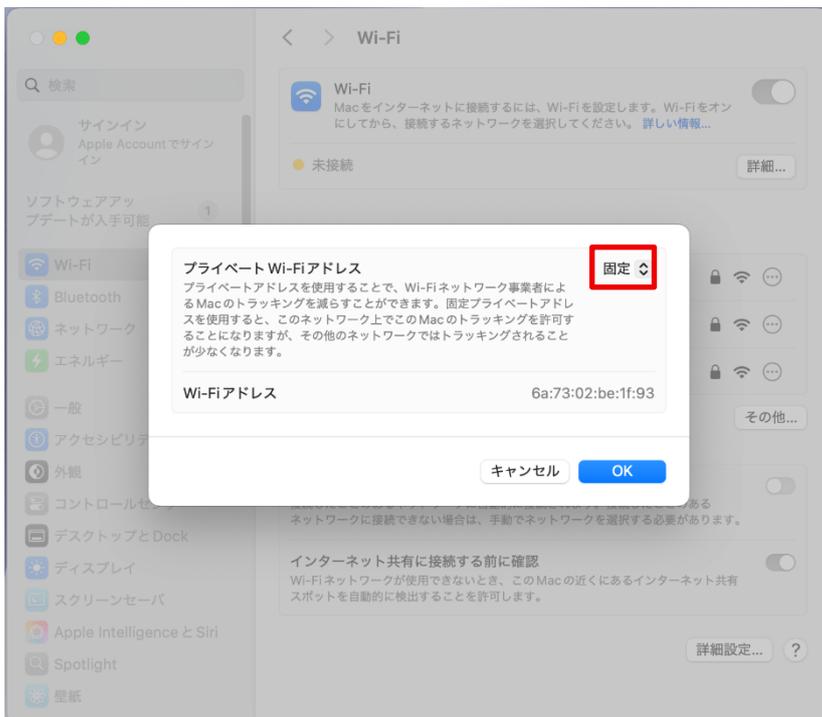
《Wi-Fi 接続時の注意事項》

MacOS から「Wi-Fi」に接続する場合には SSID 単位で以下を行ってください。

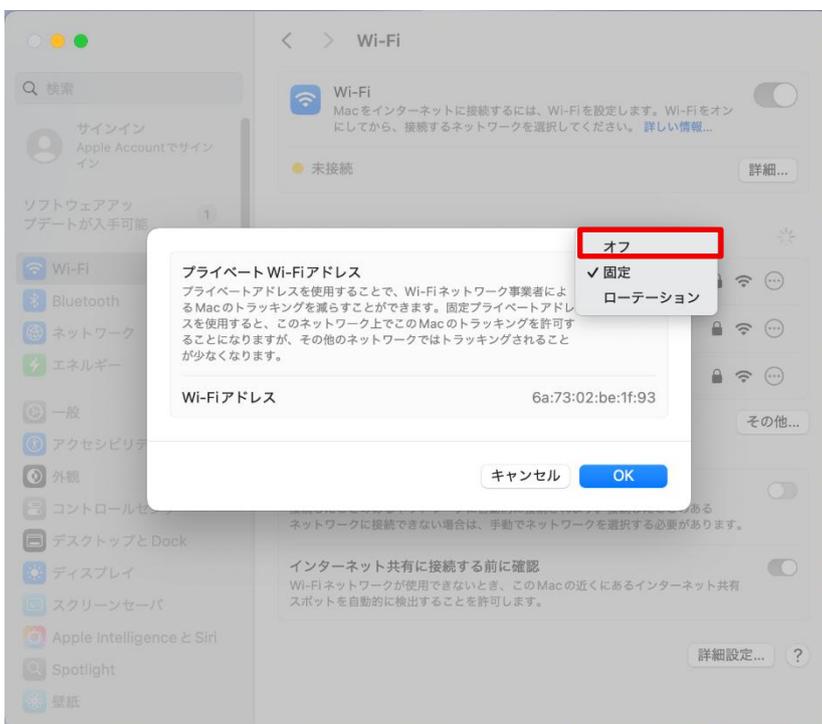
以下の例では「hosei-wifi」への接続を例に手順を記載します。「…」アイコンをクリックします。



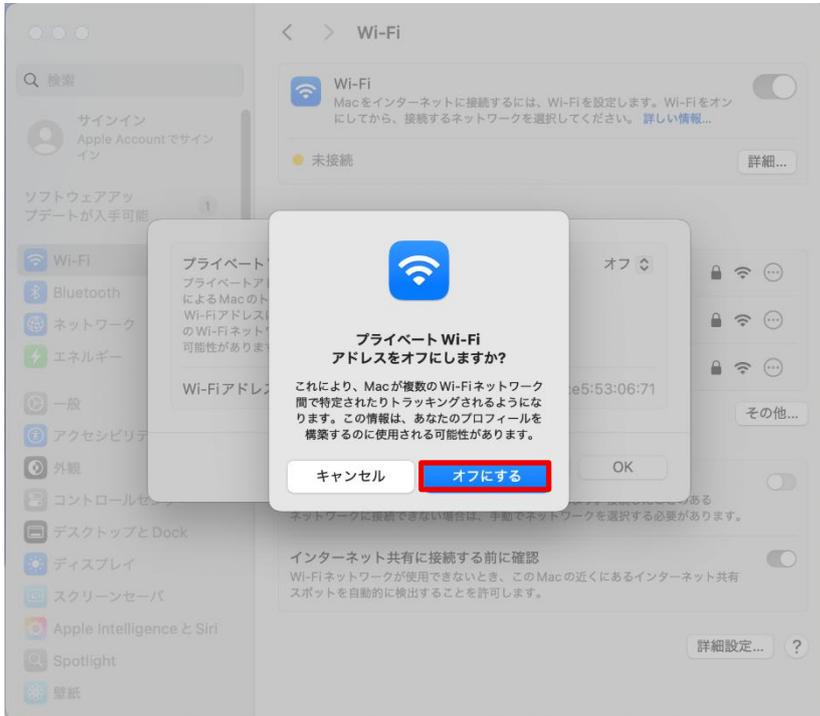
プライベート Wi-Fi アドレスの画面が開くので右上の選択ボックスをクリックしてください。



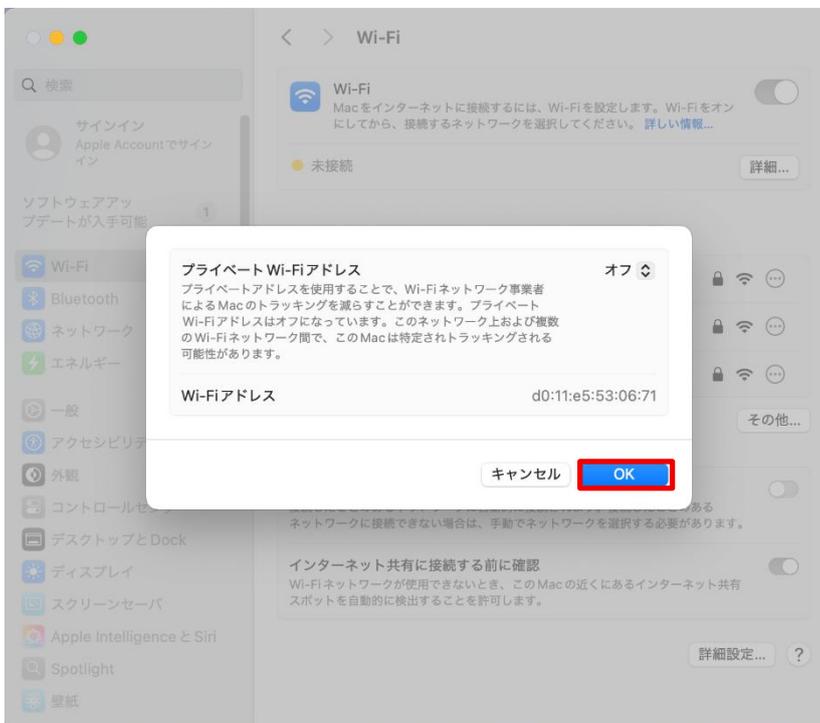
上記の「固定」をクリックすると選択肢表示されるので、「オフ」を選択する。



「オフ」を選択すると下記のメッセージが表示されるので「オフにする」を選択してください。



右上の選択肢が「オフ」になっているのを確認したら「OK」ボタンを押下してください。



4. クライアントソフトウェア導入手順

クライアントソフトウェア導入は1度実施すれば利用し続けられます。
ただし、以下のパターンが発生した場合は再度の導入を行ってください。

- 導入したソフトウェアをアンインストールしてしまった場合。
- ご利用されている機器に変更(買い替え等)が発生した場合
- OSの再インストールを実施した場合
- クライアントソフトウェアの Update が必要となった場合 ※別途アナウンスを行います。

4.1. Windows11

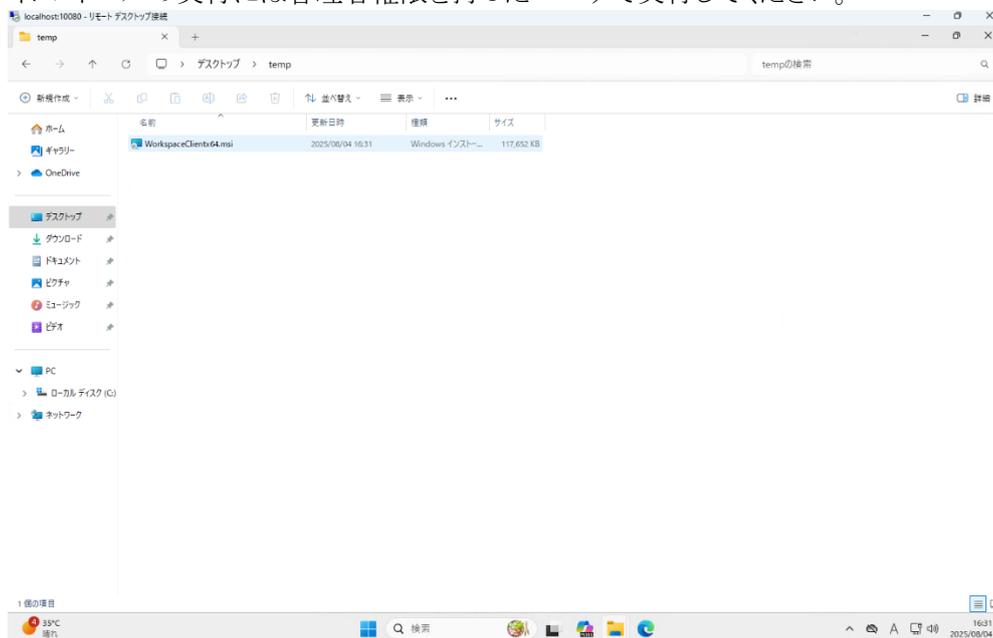
インストールするソフトウェア: Workspace Windows Client 7.1.0.1027

「Workspace Windows Client」の入手先:

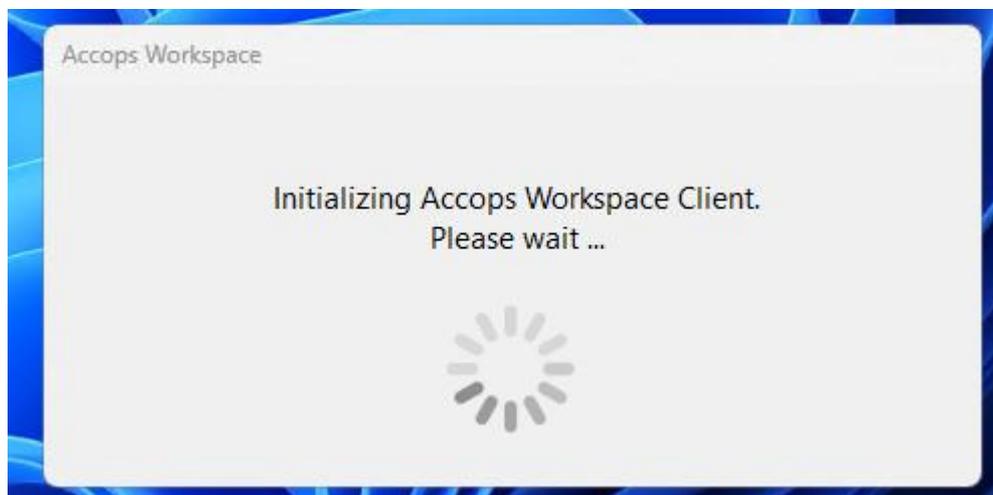
https://tedu.ws.hosei.ac.jp/wp-content/uploads/vdi_clientsoftware/WorkspaceClientx64.msi

以下の手順は Windows11 で確認を行っています。

1. 上記「「Workspace Windows Client」の入手先」の URL をクリックして exe ファイルをダウンロードします。
2. ダウンロードした exe ファイルをダブルクリックして実行します。
インストールの実行には管理者権限を持ったユーザで実行してください。



3. 「ユーザアカウント制御」が表示されるので「はい」を選択してください。



インストールが始まるので完了するまで待ちます。

4. 以上で Windows11 へのクライアントソフトウェアの導入作業は終了です。

4.2. MacOS

インストールするソフトウェア: Workspace macOS Client 7.0.1.1101

「Workspace macOS Client」の入手先:

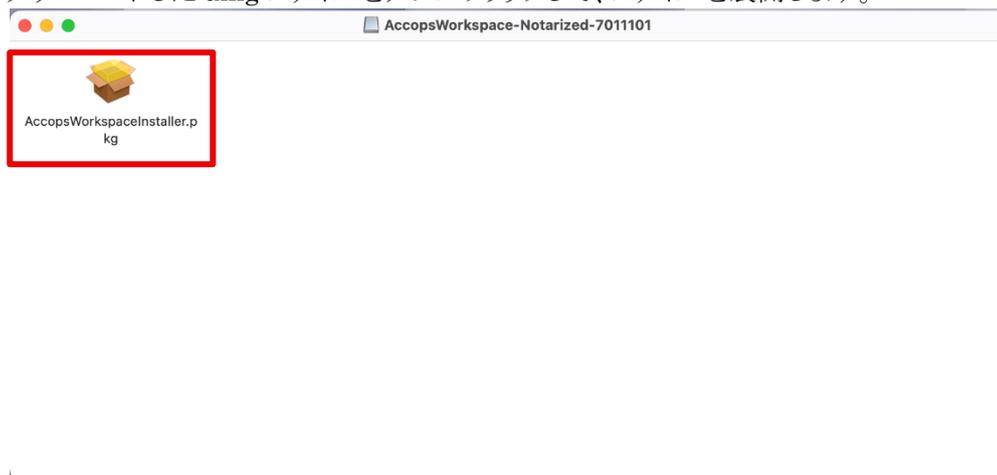
https://tedu.ws.hosei.ac.jp/wp-content/uploads/vdi_clientsoftware/Workspace_mac_client_WN.dmg

サポート OS: 2025 年 8 月時点

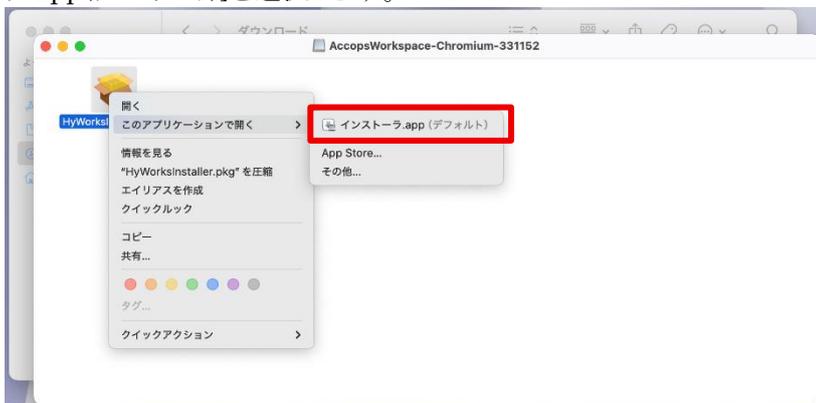
macOS Sequoia (15.x) / macOS Sonomo (14.x) / macOS Ventura (13.x)

以下の手順は MacOS 15 Sequoia で確認を行っています。

1. 上記「Workspace Client for macOS」の入手先の URL をクリックして dmg ファイルをダウンロードします。
2. ダウンロードした dmg ファイルをダブルクリックして、ファイルを展開します。



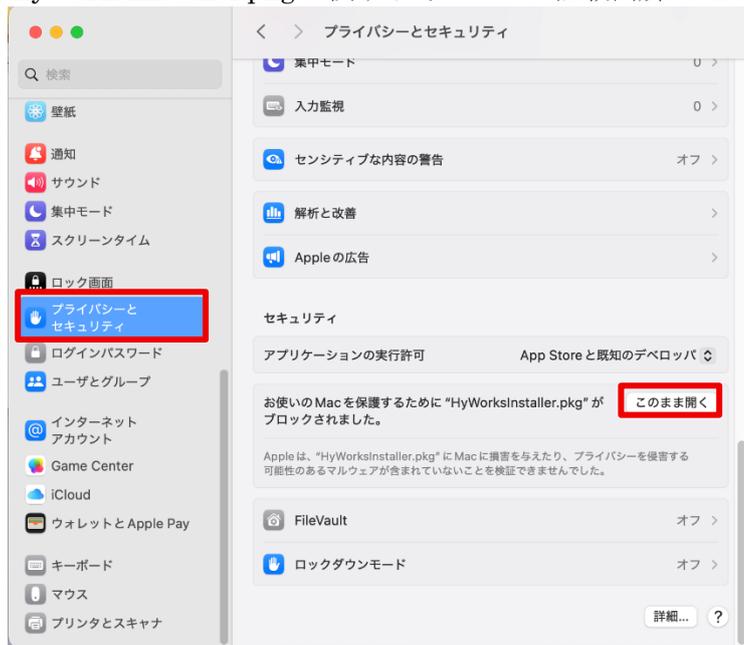
3. pkg ファイルが入っているのを、[右クリック]-[このアプリケーションで開く]-[インストーラ.app(デフォルト)]を選択します。



4. 以下のメッセージが表示された方のみ実施してください。
「完了」ボタンをクリックする。



[Apple アイコン]-[システム設定]-[プライバシーとセキュリティ]を開く。
左ペインの[プライバシーとセキュリティ]画面をスライドして、先ほどエラーになった HyWorksInstaller.pkg に関するメッセージが表示されている場所まで移動してください。
HyWorksInstaller.pkg に関するメッセージに記載箇所の「このまま開く」を選択する。



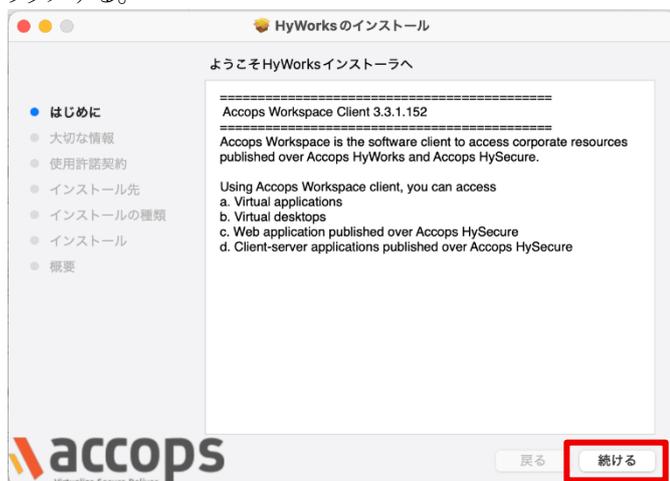
ポップアップが展開されるので「このまま開く」を選択するとインストーラが起動します。



- 「このパッケージは、ソフトウェアをインストールできるかどうかを判断するプログラムを実行します。」というメッセージがポップアップ表示されたら、「許可」をクリックしてインストールを続行してください。
2 回表示されます。2 回とも「許可」をクリックしてください。



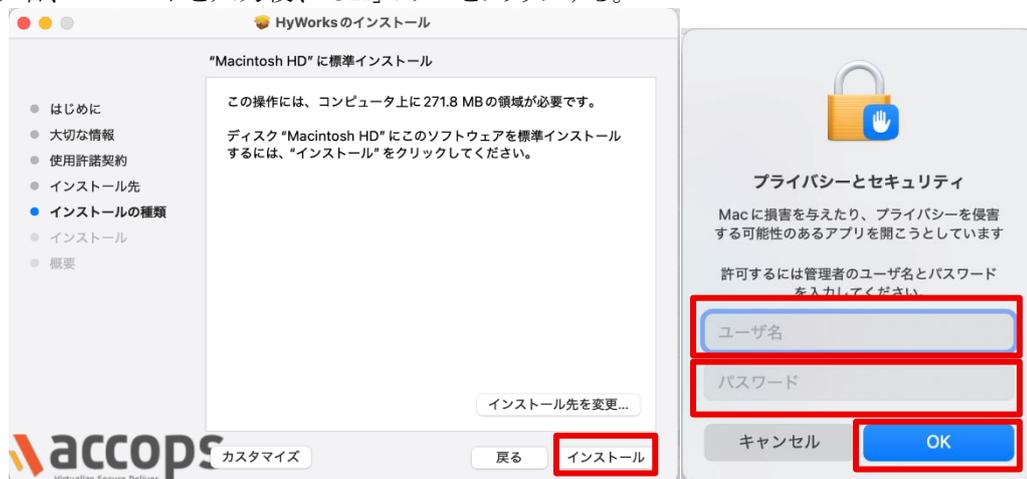
6. インストーラが起動したら、はじめに画面と大切な情報画面については「続ける」ボタンをクリックする。



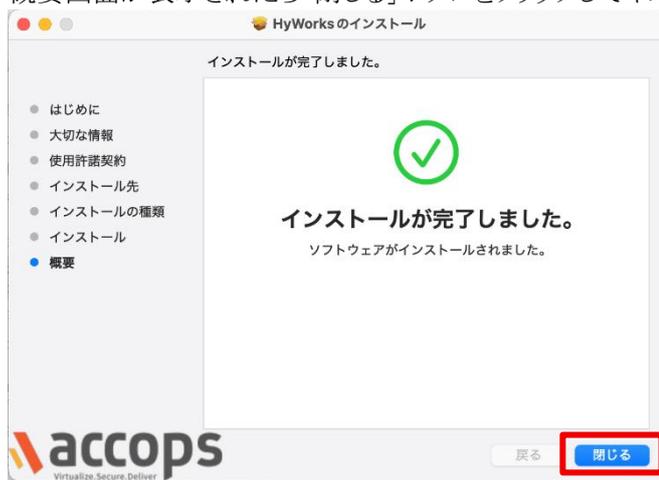
7. 使用許諾契約画面で「続ける」ボタンをクリックするとポップアップ画面が表示されるので「同意する」ボタンをクリックする。



8. インストールの種類画面で「インストール」ボタンをクリックする。
管理者のユーザ名とパスワードの入力を求められた場合は学生様の端末の管理者のユーザ名、パスワードを入力後、「OK」ボタンをクリックする。



9. メッセージが表示された方のみ実施してください。
ファイルへのアクセスに関するポップアップメッセージ通知が表示された場合は、「OK」を選択する。
10. メッセージが表示された方のみ実施してください。
アプリの変更に関するポップアップメッセージ通知が表示された場合は、「OK」を選択する。
11. 概要画面が表示されたら「閉じる」ボタンをクリックしてインストールウィザードを終了する。



インストールが終了したら次ページ以降に記載している初期設定を行って下さい。

12. [Apple アイコン]-[システム設定]-[一般]-[ログイン項目と拡張機能]を開く。



[バックグラウンドでの実行許可]から[Accops Systems Private Limited]を有効(ボタン右寄せ)にする。

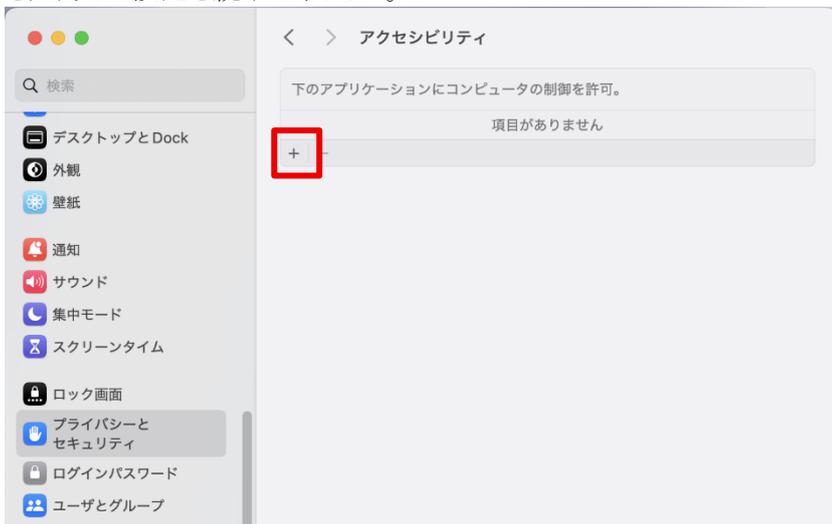


13. [Apple アイコン]-[システム設定]-[プライバシーとセキュリティ]-[アクセシビリティ]を開く。

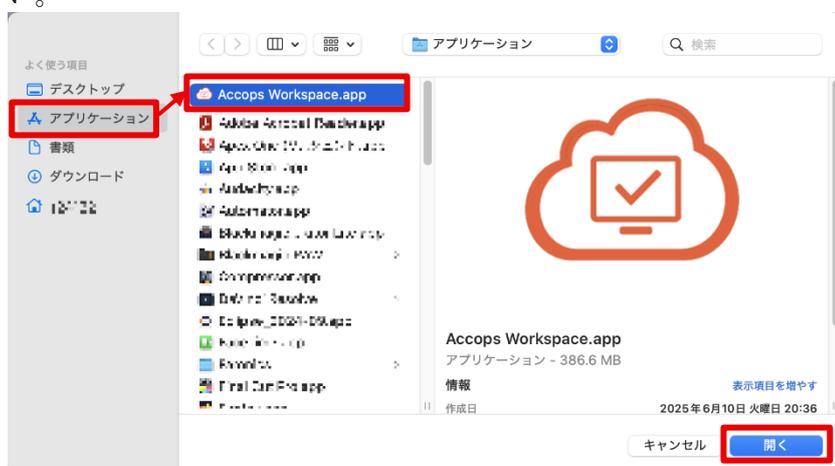


「+」ボタンをクリックする。

管理者情報の入力を求めるポップアップが表示されたら、管理者のユーザ名とパスワードを入力して設定を続けてください。

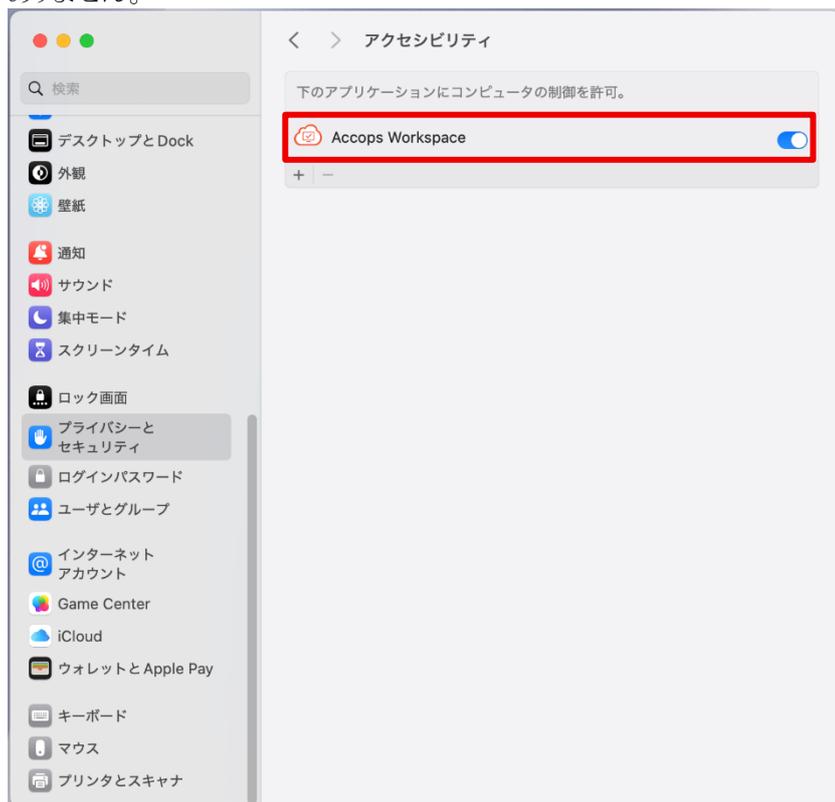


「アプリケーション」から「Accops Workspace」を選択して、「開く」ボタンをクリックしてください。



Accops Workspace が一覧に追加され、画面右のボタンが有効(右寄り)となっていること。
※注意

[アクセシビリティ]の一覧に表示されているアプリケーションは各端末によって異なります。
下記の画像にある「Accops Workspace」以外のアプリケーションが表示されていても問題ありません。

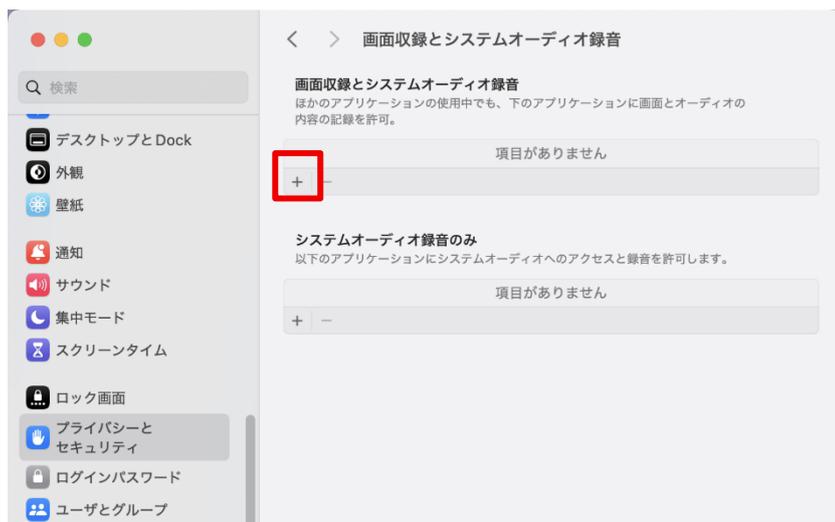


14. [Apple アイコン]-[システム設定]-[プライバシーとセキュリティ]-[画像収録とシステムオーディオ録音]を開く。

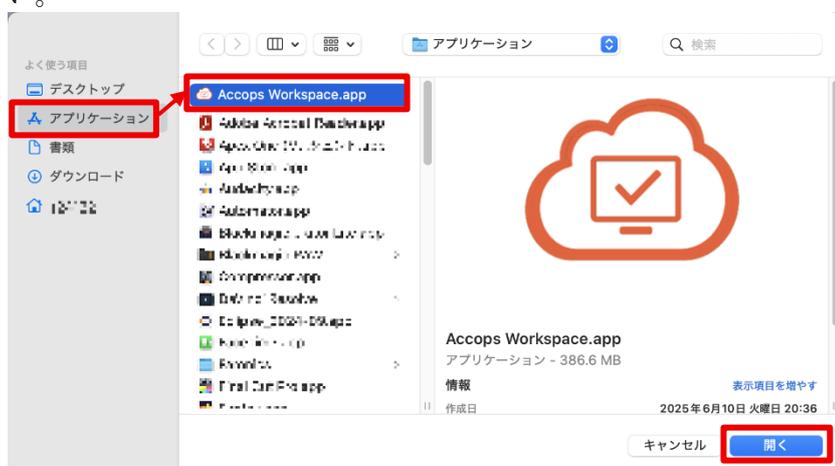


「+」ボタンをクリックする。

管理者情報の入力を求めるポップアップが表示されたら、管理者のユーザ名とパスワードを入力して設定を続けてください。



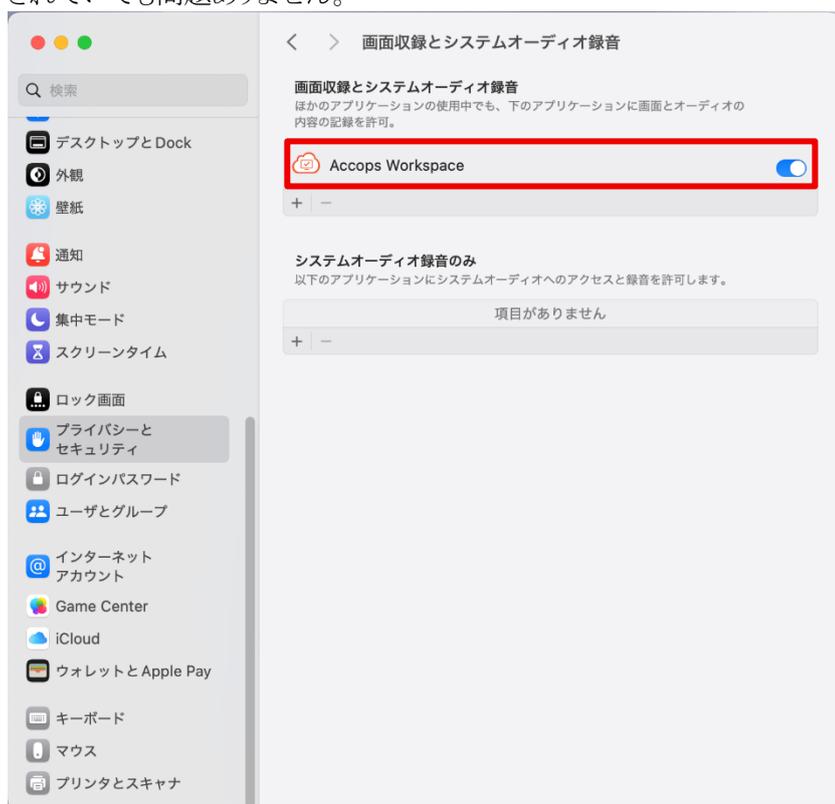
「アプリケーション」から「Accops Workspace」を選択して、「開く」ボタンをクリックしてください。



Accops Workspace が一覧に追加され、画面右のボタンが有効(右寄り)となっていること。

※注意

[画像収録とシステムオーディオ録音]の一覧に表示されているアプリケーションは各端末によって異なります。下記の画像にある「Accops Workspace」以外のアプリケーションが表示されていても問題ありません。

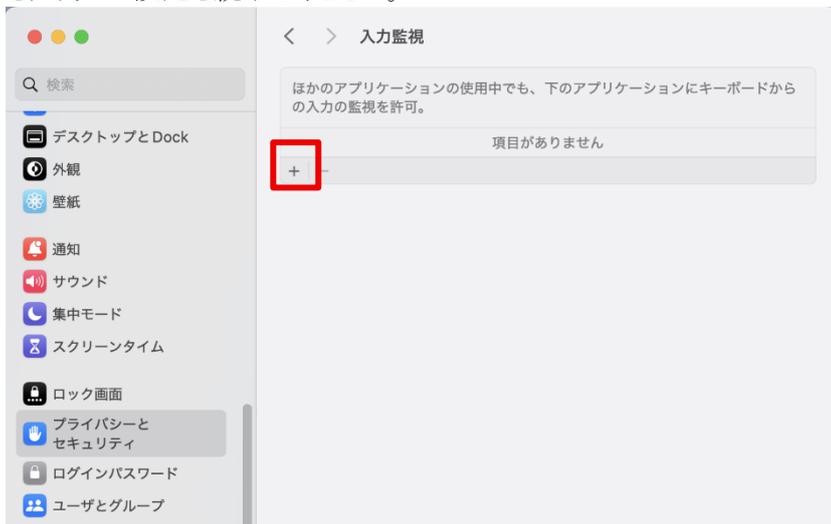


15. [Apple アイコン]-[システム設定]-[プライバシーとセキュリティ]-[入力監視]を開く。

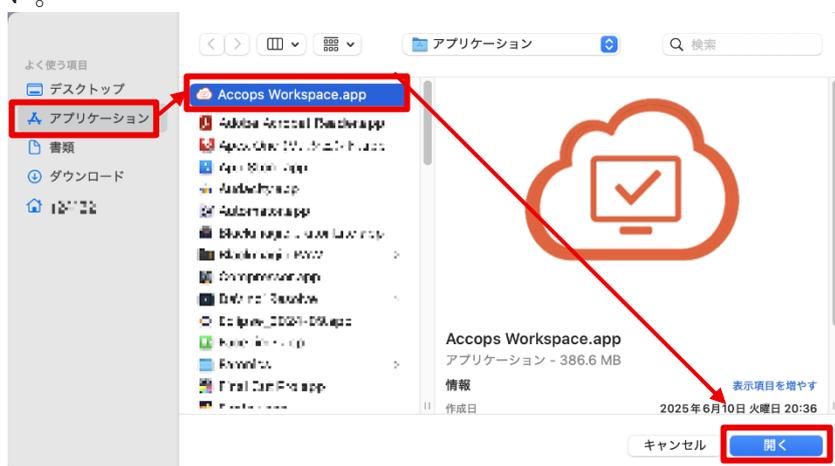


「+」ボタンをクリックする。

管理者情報の入力を求めるポップアップが表示されたら、管理者のユーザ名とパスワードを入力して設定を続けてください。



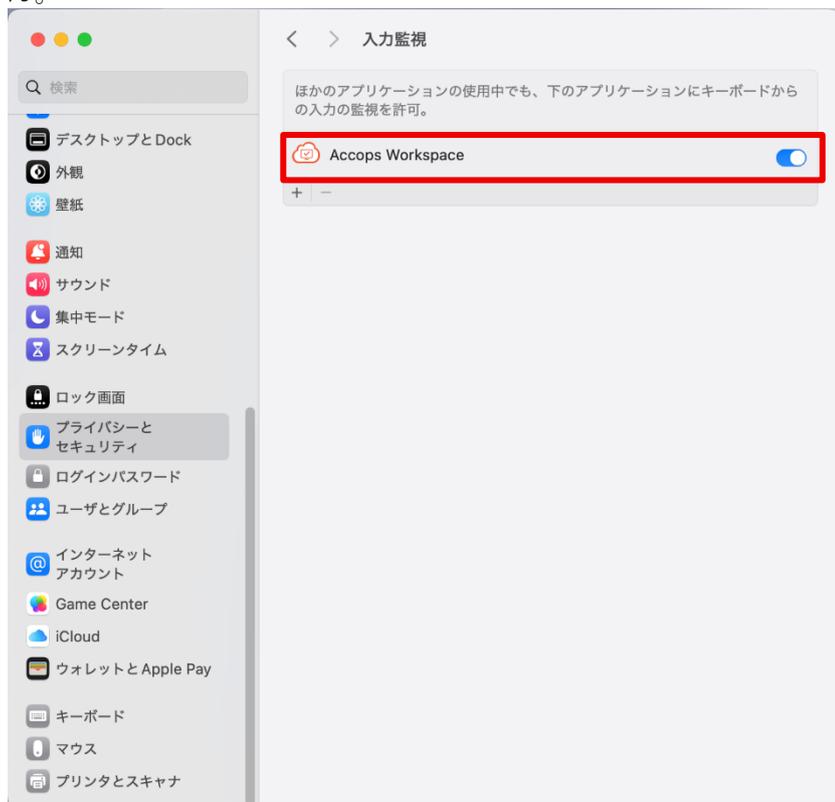
「アプリケーション」から「Accops Workspace」を選択して、「開く」ボタンをクリックしてください。



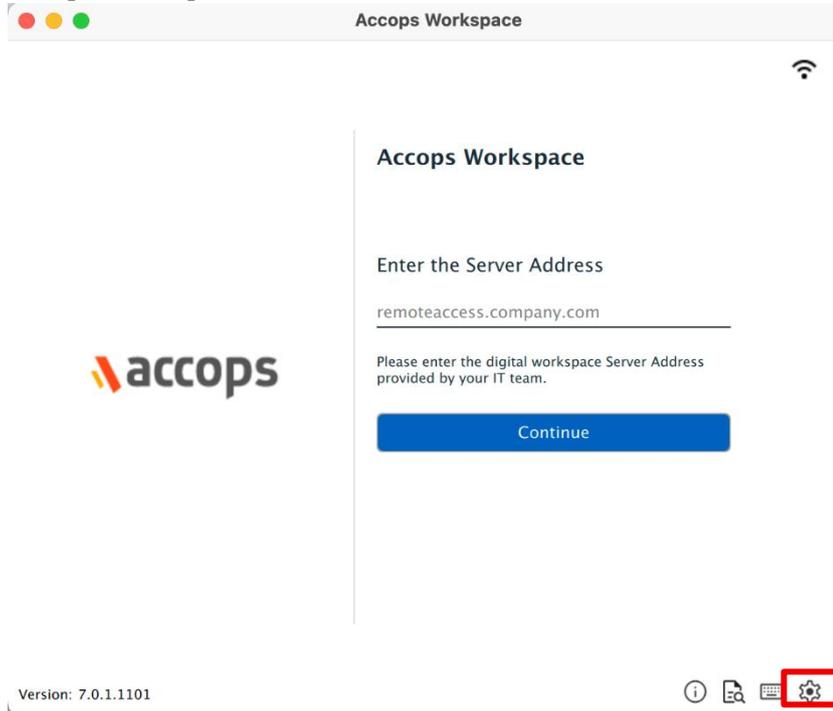
Accops Workspace が一覧に追加され、画面右のボタンが有効(右寄り)となっていること。

※注意

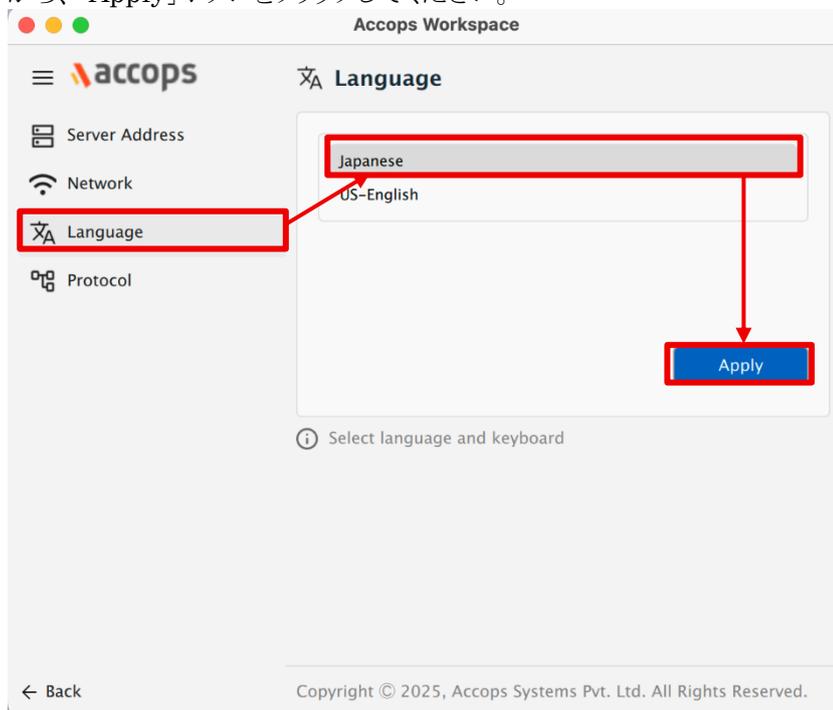
[入力監視]の一覧に表示されているアプリケーションは各端末によって異なります。下記の画像にある「Accops Workspace」以外のアプリケーションが表示されていても問題ありません。



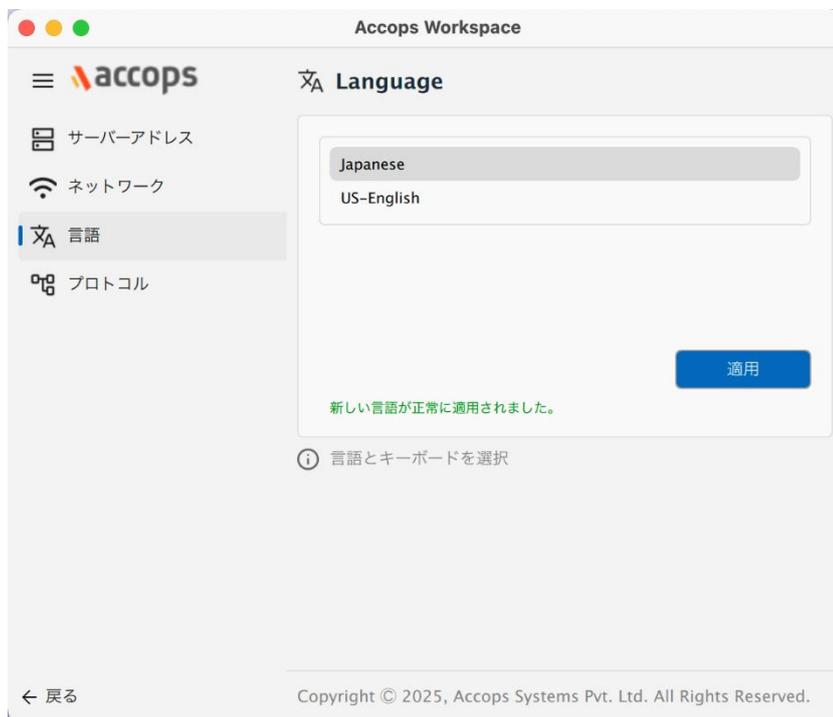
16. Accops Workspace を起動し、画面右下の歯車のアイコンをクリックする。



設定画面が開くので左ペインで[Language]を選択し、右ペインで[Japanese]を選択してから、「Apply」ボタンをクリックしてください。



表示が日本語に変更されていることを確認してください。



左ペインで[プロトコル]を選択した後、右ペインで[レガシープロトコル]を選択してから、「適用」ボタンをクリックしてください。



ログイン画面に戻る場合は画面左下の「戻る」ボタンをクリックしてください。戻る必要がないときは画面を閉じてください。

以上で MacOS へのクライアント導入作業は終了となります。